

IAQG June eNewsletter Articles

Article Image(s):



IAQG の卓越した 20 年を祝う

国際航空宇宙品質グループ (IAQG) の 2016 年春の会議が 4 月 25 日から 30 日までシンガポールで開催された。1 週間の会期中に、世界中の航空宇宙業界のリーダーで構成される各種の会合が対面形式で開催され、活動・作業の進展を見た。会合には、規格の作成、認証の更新、トレーニング、リーダーらによる IAQG 活動を活性化するための議論等が含まれる。

IAQG 春の会議のハイライトとなった、2016 年の総会（4 月 28 日に開催）で IAQG の Bill Schmiede 会長は、航空宇宙用にオーダーメイドされた品質システム規格（the Aerospace Basic Quality System Standard と呼ばれていた）が初めて合意されて 20 年になることを紹介し、総会の開会を宣言した。この規格は航空宇宙業界の主要な企業が、彼らのサプライチェーンを通して、単純で一貫した品質基準を作り上げるため、共通の航空宇宙品質システム規格の制定に向けて作業をする第一歩となった。

シンガポール航空宇宙工業会の Assistant Honorary Treasurer の Jimson Ngiam 氏が、シンガポール航空宇宙工業会で品質委員会（AQC）を発足したことを発表した。これは将来的にシンガポール航空宇宙品質グループ（SAQG）で展開される。AQC は、シンガポールに拠点を置く航空宇宙産業界の会社が関連品質基準の採用をするため、教育、促進、支援し、産業界全体の発展のために新しい市場への参入、比較優位の確保を目的としている。

PEM(Performance Excellence Marketplace)の展示会が総会と併せて開催された。展示会では、シンガポール会議

IAQG June eNewsletter Articles

のスポンサーである DNV-GL, Sanmina, Atos, Wizlogix, 3M の他に、BSI group Singapore, InspectionXpert Corporation, Integrare Omnex, Integrated Process Improvement (IPI), Verify, Inc 等が、それぞれの会社の製品やサービスを、イベントに参加した IAQG メンバーやサプライヤーに紹介した。

IAQG は、2016 年 IAQG シンガポール会議にご尽力頂き、会議を成功に導いた下記会社に感謝申し上げたい。

- United Technologies Corporation
- DNV-GL Business Assurance Singapore Pte Ltd
- Sanmina-Sci Singapore Pte Ltd
- Atos Information Technology (Singapore) Pte Ltd
- Safran Electronics Asia Pte Ltd
- Thales Solutions Asia Pte Ltd
- Wizlogix Pte Ltd
- 3M Singapore Pte Ltd
- Liebherr-Singapore Pte Ltd
- Singapore Test Services Pte Ltd

2016 年 10 月 10 日～13 日にマイアミで開催される次の会合にも是非 IAQG ウェブサイトから参加をお申込み下さい。

IAQG June eNewsletter Articles

シンガポールサプライヤーフォーラム；ベンチマークと教育の場を提供

サプライヤーフォーラムでは、IAQGが現在行っている重要で優先的に行っている活動とイニシアティブ（航空宇宙業界の価値を高める改善活動）の概要が紹介され、サプライヤーは次の項目を直に経験する機会となった。

- ・ 現在及び将来の活動を理解する
- ・ 最新のイニシアティブを学ぶ
- ・ 品質方針と実施の標準化を通してコストを下げる
- ・ ネットワークを広げる
- ・ フィードバックを提供する

2016年のIAQGシンガポール会議では4月29日にサプライヤーフォーラムが開催され、130人のサプライヤーの代表者が参加した。

IAQG会長（Mr. Bill Schmiede）による開会の辞で始まったサプライヤーフォーラムで、Bill氏は、問題が繰り返し起こる箇所を特定し、サプライヤー自身が自分たちのプロセスと製品において、これら問題個所の管理方法に焦点を当てることは、すべての顧客とサプライヤーにとっての目標であることを強調した。

Bill氏はサプライヤーフォーラムが、他のサプライヤー/顧客/様々な規格及び適用に関わるエキスパートと、ベンチマーク及び交流する機会を与えるものであると述べた。

オープニングセッションの後は、4つのテーマ（航空宇宙規格の最新状況、Achieving Assurance、リスク管理、特殊工程及び購買の課題）ごとに分かれたセッションとなった。講演者の中には、スポンサー会社（例えば、Atos Information Technology (Singapore), DNV GL Business Assurance Singapore, and Singapore Test Services.）の経営幹部も含まれていた。



IAQG June eNewsletter Articles

9100 : 2016 年版移行計画

9100 : 2016 シリーズ規格の次の改定では、IAQG は ISO9001:2015 品質マネジメントシステム (QMS) と移行時期を併せることに合意した。移行の時期は、遅くとも 2018 年 9 月 15 日までとした国際認定機関フォーラム (IAF) 決議 2013-15 に従ったものである。

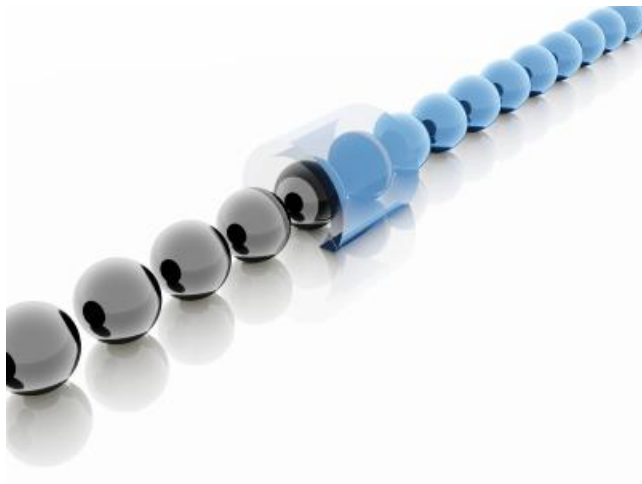
9100 : 2016 シリーズ規格は、アメリカ、アジア・太平洋、ヨーロッパセクターで同時に発行される。

現在、9100 : 2016 は 2016 年 10 月、9101 と 9110 は 2016 年 11 月、9120 は 2016 年 12 月に発行する予定をしているが、発行時期を予定より早めて、発行日を全セクターで揃えるために取り組んでいることが確認された。

業界による認証制度管理チーム (IAQG Other Party Management Team, OPMT) は、9100 : 2016 改定版の発行と同時に、全てのステークホルダーに向けて、移行計画の概要を説明した補足規程 SR-003 をリリースする計画である。

加えて、IAQG は、全ての認証を受けた組織に対し、ISO 9001:2015 規格と IAQG ウェブサイトにある 9100 : 2016 の主な変更点をまとめたプレゼンテーションをレビューし、移行のためのギャップ分析の開始を推奨している。

【JAQG 補足：主な変更点をまとめたプレゼンテーション 和訳版は JAQG メンバー専用サイトで掲載中。】



IAQG June eNewsletter Articles

9100:2016 シリーズ規格 審査員トレーニング

9100/9110/9120/9101 の時期改正作業では、これらの改正が ICOP スキームの様々なステークホルダーへ与える影響について議論に議論を重ねてきた。

移行を成功されるための重要な要素のひとつに、品質マネジメントシステムにおける適合性及び効率性を保持するため、新規要求事項を理解し、改正内容を適切に監査に適用することができる監査員リソースを確保することが挙げられる。OPMT は、監査員に新規規格に沿った監査の能力が確実に備わるために、トレーニング課程を開発中である。同時に新規トレーニング要求を監査員が果たすためにかかる費用と時間も考慮している。

移行スケジュールが非常にタイトであることに鑑み、我々は既存のトレーニング開発社である Plexus International 社とともに、現行の規格で認証された審査員が、新しい ISO9001:2015 と 9100:2016 シリーズ規格で効果的に組織を理解し監査するに足る知識を与えるようにすることを主目的にトレーニングマテリアルを開発している。

下記は、トレーニング開発に関連する決定事項である。

- トレーニングは既存の規格で認証された審査員に主眼を置く。移行スケジュールに悪影響を与えないようにこの移行トレーニングが利用可能になった後、既存の AATT トレーニングへの改定を行う。
- トレーニングは、審査員に対面会議による時間とコストをかけないよう、オンラインで行う。
- トレーニングは航空宇宙、防衛の要求以外の ISO9001:2015 の範囲をカバーしていない。認証機関は、所属する審査員に ISO9001 : 2015 規格の適切な訓練を確実に受けさせる義務がある。審査員の ISO9001 規格への理解度を評価するための ISO9001:2015 事前評価版が発行される。
- トレーニングはモジュールとして開発されており、新規規格に対する主要な変更点又は要求の変更、審査報告要求に焦点を当てる。
- トレーニングモジュールは、全ての IAQG 言語で同時にリリースする。

IAQG June eNewsletter Articles

トレーニングアプローチ

9100 オンラインアップデートコンポーネントトレーニングは、ISO 9001:2015 知識の事前評価、9100:2016 の差分トレーニングと知識評価、9101:2016 の差分、様式と審査報告書トレーニング/9100 : 2016 を強調した評価、から構成される。

9110 を認証する審査員は、9110 : 2016 差分トレーニング・知識評価、9101 : 2016 トレーニング・追加項目・9110 : 2016 を強調したトレーニングより成る 9110 アップデートコンポーネントを完了する必要がある。



IAQG June eNewsletter Articles

9120 を認証する審査員は、9120 : 2016 差分トレーニング・知識評価、9101 : 2016 トレーニング・追加項目・9120 : 2016 を強調したトレーニングより成る 9120 アップデートコンポーネントを完了する必要がある。

各モジュールの構成は下表に示す通りである。

Product to Purchase	Product Includes		
	Pre-Assessment	Delta Training/Assessment	9101 Training/Assessment
9100 Online Update Component	ISO 9001:2015 Knowledge Pre-Assessment (2 hours)	9100:2016 Delta Training and Knowledge Assessment (2 - 3 hours)	9101 Delta, Forms & Audit Reporting Training/Assessment with Emphasis on 9100 (3 - 4 hours)
9110 Online Update Component (Add-On)		9110:2016 Delta Training and Knowledge Assessment (2 - 3 hours)	Added Content with Emphasis on 9110 (1 ½ - 2 hours)
9120 Online Update Component (Add-On)		9120:2016 Delta Training and Knowledge Assessment (1 - 1 ½ hours)	Added Content with Emphasis on 9120 (¾ - 1 hour)

開発計画と開始時期

各モジュールは、様々な規格検討チームからの情報をもとに開発が進められている。各モジュールの開発は、3つの主要なチェックポイントと承認ポイントを経ることになる。チェックと承認ポイントとは、コンテンツ・レビュー、パイロット・レビュー、トランスレーション・レビューのことである。コンテンツ・レビューは、IDR (International Standards Representatives、IAQG 文書責任者) と SDR (Sector Document Representatives、セクター文書責任者)、規格検討チームメンバー、OPMT の代表により行われる。パイロット・レビューは、IDR と SDR、規格検討チームメンバー、OPMT の代表と限られた数の認証機関代表により行われている。トレーニング教材のトランスレーション・レビューは、IAQG メンバー会社からの複数のボランティアにより行われる予定である。

IAQG June eNewsletter Articles

現在の計画では、9100 オンライン・アップデート・コンポーネントは、9100 : 2016 規格と 9101:2016 規格の 3 セクター 発行時期に合わせ、11 月末には完成し利用できるようになる予定である。9110 と 9120 オンライン・アップデート・コンポーネントは、9110 : 2016 規格と 9120 : 2016 規格の発行時期に合わせて、1 月中旬に完成し利用できるようになる予定である。

まとめ

IAQG の指導のもと OPMT と Plexus インターナショナル社は、とてもタイトな移行計画を支えるために有意義なトレーニング・プラットフォームの開発を進めている。現行の審査員が 9100/9110/9120/9101 改定版の内容を確実に理解し、SR-003 で定められる移行の要求事項を確実に支援できるようトレーニング開発プロセスにおける各々のパートナーが尽力している。我々は移行が成功裏におこなわれることを期待している。

質問又はコメントは、OPMT Sanctioned トレーニングチーム、newsletter@iaqg.org まで。

IAQG June eNewsletter Articles

Online Aerospace Supplier Information System (OASIS) データベースは次世代へ

OASIS データベースは、IAQG のステークホルダーが ICOP スキームによる最新の認証状況を閲覧できるシステムである。

ICOP スキームによる認証、航空宇宙審査員の認証、ガイダンス、審査結果等に関連する情報が OASIS データベース上で検索できる。認定機関、認証機関、認証された組織のサイト、承認された審査員等の一般的な情報だけが、公に公開される。特定の審査結果に関するデータは認証された組織が了承した場合のみ開示される。データベースは、IAQG 執行委員会委員、IAQG 戦略検討委員会委員など業界リーダー、認証機関、規格作成代表への堅固なステークホルダーフィードバック機能を有している。

2015 年、IAQG はデータベースの大幅なアップグレードと記録システムの次世代データベースへの移行に資金を投入することを決定した。次世代 OASIS は既存の機能を継承し、ICOP 審査の計画・審査報告書の作成・是正処置の管理・認証機関へのオーバーサイト報告機能を強化、認証スキームの維持改善に関する情報を IAQG へフィードバックする機能を強化している。この開発作業は、技術進歩の活用と将来に渡ってこのスキームを維持するための重要な投資である。

次世代 OASIS は、現在 2016 年 12 月に最初のリリースを計画している。リリースに先立ち、情報交換・ユーザートレーニングが利用可能になる。次世代 OASIS プロジェクトの目的とスケジュールに関しては、IAQG ウェブサイトで確認できる。


IAQG OPMT は、ICOP 航空宇宙・防衛品質マネジメントシステム認証スキームの継続的な改善活動を続けている。



IAQG June eNewsletter Articles

規格作成チーム表彰

最近開催された春の IAQG シンガポール会議では、業界規格開発に貢献したことが認められたワーキンググループ、個人に対して、賞が贈られた。最近、多くの規格が作成/更新され、出版プロセスにある。規格の改定には、業界ボランティア（下表に示す）の協力なくしては不可能である。IAQG は、彼らと所属会社に対し、これらの貢献に感謝の意を表したい。

<u>9100 Writing Team</u>	<u>9102 Writing Team</u>	<u>9104.2 Writing Team</u>	<u>9116 Writing Team</u>	<u>9132 Writing Team</u>	<u>9136 Writing Team</u>
Alan Daniels Buddy Cressionnie Brigitte Clamens 河本正博(MHI) Jim Clifford Kim Roy 白井達矢(KHI) Jenfeng Geng Roberto Ciaschi Pete Cracknell Wayne Johnson Ray Wright Dale Gordon Elizabeth Walters Agathe Moll	Carl Zimmerman Kevin Ward Leonid Letchford 首藤寛(MHI) 大野純平(MHI) Mark Covert Annika Kall David Fanning Sid Smith Joshua Oderberg Pascal Blondet Peter Steedman Doug Krumm Lorri Huff Tomas Vangell Frederick McCracken 熊谷良子(MHI) 小原勢一 (IHI) Dante Estevez Micheal Terry Norm Gross Mike Aberley	Tim Lee Marie-Laurence Petit 柴田憲次(MHI) 土屋記和(KHI) Ian Folland Bruno Fieux Giuseppe Leoni Bob Cruse Susie Neal Jeff Wood Vince May Reg Blake	Mike Quinn Dale Gordon Yvan Brissaut 岡本勇司(FHI) 原 洋一(FHI)	Craig Maners Dale Gordon Takayoshi Maehata 菅野 義就(海外物産)	Bernard Lauras Norman Pedersen 渡邊 靖(MHI) Muriel Brifault
					

IAQG June eNewsletter Articles

宇宙；将来技術

IAQG スペースフォーラムが 2016 年 4 月 26 日、シンガポールで開催された。スペースフォーラムは、全てのステークホルダーの価値を高めるために、宇宙産業において展開すべき重要な分野を特定するため開催される。これには、デジタル・モデルや積層造形 (3D プリント等) の生産技術を用いて開発される製品に整合する業界規格の開発を含み、これらの活動は、宇宙産業にとって益々有益となっている。スペースフォーラムでは、業界の様々なリーダーが以下のトピックスについて講演した。

- Industry Initiatives for Additive Manufacturing Jeanne Kerr 氏 – Lockheed Martin (LM)
- 22nd Asia Pacific Regional Space Agency Forum Report Low Eng Siang 氏 – Defence Science Organisation (DSO)
- EN 9100 Certification Structures Adequacy for “Distributed Organization” Alfio Mantineo 氏 – European Space Agency (ESA)
- JAXA Safety & Mission Assurance Activities Overview 泉 達治氏 – JAXA

講演に続いて、安全とミッション保証活動の認識拡大、及び潜在的な認証構造に関する議論が行われた。スペースフォーラムではこのイニシアティブへの参加者を募集中で、今後開催される会議への参加者を歓迎する。スペースフォーラム活動に関する情報は、スペースフォーラムチーム宛てに newsletter@iaqg.org まで。



記事に関する全ての質問は: newsletter@iaqg.org. まで。